

平成28年12月15日

保護者各位
家庭数配布

PTA理事会だより(11・12月合併号)



日野小学校 PTA 理事会

◎開催日時 平成28年11月7日(月)・12月9日(月) 19:00～ 校長室

あっという間に12月に入り、今年も残すところあと少しとなりました。後期前半が始まってから日野リンピックや市P連音楽祭、地域の匠作品展、かっちゃんクラブもちつき大会と様々な行事に参加ご協力をいただきありがとうございました。1月に入ると新年度の役員選出等、次年度に向けての準備がスタートします。引き続きPTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。



【各専門部報告】

地域厚生部	・次年度役員選出に関する文書を配布しております。ご記入の上、12/20(火)までにご提出をお願いします。 ・1月中に役員選考委員会を開催予定です。
学年部	・各学年、親子レクリエーションを開催しました。
母の会	・市P連音楽祭(11/23(水・祝)開催)に参加しました。 ・年末地域防犯パレードに参加しました。
文化部	・広報紙「けんぎゅう」発行に向けて準備を進めています。
学校保健委員会	・12/9(金)第2回学校保健委員会を開催しました。 橋貞幸先生を講師にお招きし、アドラーの心理学『勇気づけ』をベースにご講演をいただきました。 ・第2回学校保健委員会だよりを発行予定です。
日野げんきっこクラブ	・11/20(日)親子レクとしてボウリング大会を開催しました。 ・12/7(水)第8回役員会を開催しました。

各専門部員の皆様に地域の匠作品展の展示作業や受付のご協力をいただきました。本当にありがとうございました(*'▽')



【開催行事等について】

日野リンピック 地域保健体育部アンケートより



- 子どもも大人も楽しめた。
 - 子どもたちが生き生きと楽しくプレーしていた。
 - 他地区や他学年との交流ができた。
 - 決勝戦の間、Bコートでも試合できよかった。
 - 準備が行き届いていた。
 - 部員の方がよく動いてくださりけがもなく終了できた。
 - △審判は部員か先生のほうが良いのでは？…公平を期すのと、朝の説明時間を省ける。
 - △床にラインを一時的にでも引いた方がわかりやすい。
 - △未就学児も多かったので応援席を検討する必要がある。外野と応援の人の区別がつかないし周りに座るのも危険。ギャラリーの開放は行わないのか？
 - A. 小さい子は柵の隙間から落ちる恐れもある→以前は段ボールを貼り付けたり等の対応をしていたが、隙間から足をぶらぶらさせて観る子も見受けられたため現在は禁止している。次年度以降検討の必要あり。
 - △チームの区別がつきにくい。
 - A. ビブス着用又は運動会で使うハチマキでの対応を検討。
- 提 案：予定より時間がのびたので、よりスムーズにできるようにしたい
縦投げや外投げ等の投げ方の方法も検討が必要である。
- 来年度：ドッチビーが多数…他：風船バレー・高学年ドッチボール低学年ドッチビー等

かっちゃんクラブ「もちつき大会」 スタッフアンケートより

- 様々な所でいろんなことを積極的に手伝ってくれた子ども達がいて素晴らしさを感じる事ができました。
- 5、6年生のおもてなし隊の子ども達が本当によく動いてくれていて感心した。
- とても楽しく参加出来た。沢山の方々がもちつき大会の為にに関わり、参加者に楽しんで帰っていただける工夫をされていることが分かった。
- 祖父母と初めて参加
 - △地域の方も子どもたちと一緒にもちつきができるよう交流する機会があったら。
 - △体調を悪くされた方いたとの事。AEDの位置の確認や非常事態への備えをみんなで行った方がいい。
 - △もう少し子ども達にももちつき体験をさせてあげたかった。
 - △つき手に入れなかったとの声を聞いたので、参加者をいい意味で巻き込める雰囲気づくりができたらと思う。

上記以外にも沢山の感想やご意見をいただきました。次年度の活動が更にスムーズになるように引き継いでいきたいと思ひます。スタッフとしてご協力をいただいた皆様ありがとうございました！！

★日本PTA九州ブロック研究大会みやざき大会報告（県P連新聞もご覧ください）

大分・大野小学校：2学期末に臨時総会を開催し、新年度の役員決め（年度内に引き継ぎできるように。新1年生の役員選出法については、入学説明会時に行う）

佐賀・西唐津中学校：お父さんの参加促進：親子レクリエーションや保健体育部役員へ
→全体のPTA行事への参加増・親同士の会話も増

PTAの目的…地域の人たち：子どもたちの成長が喜び～見守っている

子どもを自分だけで育てるのではなく隣の子どもの面倒を見ながら子育てを行う

★佐世保市ココロねっこ研修会

「大人が知らない イジメの素顔」 学校心理士 齊藤征志先生
（特に印象に残った話の部分と、レジメからの抜粋です）

- *いじめられている：でも泣いたら親から叱られる→お風呂の中で、もぐって泣く
- *日頃20～30点の英語で70点とったよと親に報告→なんね70点ね→不登校に
- *夫婦仲が悪く母から父の話を聞き、どうかせんば、でもどうもできない→リストカット
- *あすなろ教室（学校適応指導教室Tel22-0781）：学校と家の間に：市の機関〔出席扱いに〕→友達できた・優しく/話しかけられる/笑う・外出できるようになれた
- *いじめ被害者の心理：かっこわるいと思って言えない

以前、親がいじめられる方も悪いと言った。悲しかった。

あなたは悪くない、恥ずかしい事じゃないと言ってほしい

- *いじめる側の問題・背景：自尊感情が低く、共有体験が不足している

家庭や学校で不平不満を抱えている～親からの過度の期待、DV、不和

- *！共生の心を育む地域活動！

- 1 地域行事では立案から実施まで子どもたちを参加させてはどうでしょうか
- 2 地域と学校が共催する行事はどうでしょうか
- 3 子どもたちが活用しやすい公民館の在り方—不登校の子が公民館まで来れる
- 4 行事終了時には、反省会や意見交換会を行い、「共感する心」を育む場面を設定してほしい。

☆地域行事に生徒全員参加する場合に翌日を振替休日にするような制度を考えては

講師の齊藤先生は市内の中学校で校長を務められた体験の中で、ほんとうに切実に子どもたちを救いたいと思ってらっしゃるお気持ちが伝わってきました。

レジメの最後に、LINEによるいじめ行為の実例を載せてありました。その対話の内容を見て私が感じたことですが、正論を押し出す側と、それをふりかざされることで嫌悪感と攻撃性を増す側との溝が、いじめの一つの大きな構図のような気がしました。

学校や親は、もちろん正論ありきの存在なのかもしれませんが、これぐらい当たり前じゃない？！と家族も他人も自分も追いつめるのは、自分や自分につながる環境に苦しみを生み出すもとなのかもと反省してみました…共感する心を我が子に対してもー！（^^；）

感想（参加者：PTA総務 伊東）

次回理事会は1月10日（火）19：00～校長室にて開催予定です。

